

桜蔭俳話会 十二月句会(第三七一回)

平成三十年十二月二十三日(日)

会場・旭区民文化センター(サンハート)

【推薦句】

晩年の戦さ場いくつ鱒起し

明美

事も無げな余命の告知冬の雷

かほる

山眠る深きところに泉抱き

才美

杉玉を映す古井戸冬日濃し

幸

交差する鉄路のひかり冬ざるる

ヤエ子

冬晴や融け込みさうなちぎれ雲

友子

【添削句】

【原句】年惜しみこの世の介貨車につむ 才美

【添削案】年惜しむこの世の芥貨車に積み

【原句】凍星の流れや命尽きるまで 友子

【添削案】凍星やこの命尽くるまで

【原句】着ぶくれの出女となり箱根関 才美

【添削案】着ぶくれの出女ひとり関所跡

【原句】寒空に届け自販機背伸びの子 眞壽

【添削案】冬晴や背伸びの自動販売機

【原句】懐手解きて奥の手出す支度 才美

【添削案】懐手解きて奥の手出す構へ

【原句】酒と鍋たらふく食べて山眠る 眞壽

【添削案】鍋一杯たらふく食べし山眠る

【原句】痛み止効きて暫しの日向ぼこ かほる

【添削案】痛み止め効きしひととき日向ぼこ

【原句】たちまちに星の飛びつく冬木立 才美

【添削案】たちまちに星飛びつきし冬木立

【原句】相席のひとり同志や冬ぬくし 友子

【添削案】相席の一人とひとり冬ぬくし

【原句】義士の日の監視カメラにある死角 才美

【添削案】義士祭や監視カメラになき死角

【原句】大鳥居建て替へ終へて山眠る かほる

【添削案】山眠る建て替へ済みし大鳥居

【原句】山門を額に燃え立つ冬紅葉 友子

【添削案】山門を額縁として冬紅葉

【原句】日向ぼこ肥えたる猫の長欠伸 邦子

【添削案】日向ぼこ肥えし小猫の大欠伸

【原句】目鋭き黒猫とおる実千両 ヤエ子

【添削案】まなこ鋭き黒猫とおる実千両

【原句】冬支度に死語となりゆくセル錦紗 邦子

【添削案】冬支度死語となりゆくセル錦紗

【原句】冬ざれや亡き友の街通過せり ヤエ子

【添削案】冬ざれや見知りし街を通り過ぐ

【原句】早口の僧の案内や冬ざるる 友子

【添削案】早口の僧の案内冬ざるる

【原句】黒髪を巻き込むマフラー歩の速し ヤエ子

【添削案】黒髪を巻き込むマフラー急ぎ足

【原句】生甲斐と幸福煮込むおでん鍋 眞壽

【添削案】生き甲斐に幸福重ねおでん鍋

【原句】無人レジ静かに灯る冬の夜 明美

【添削案】青白き無人のレジや冬の夜

【原句】数へ日を探し物して終へにけり 友子

【添削案】数へ日を尽くして探す物一つ

【原句】灯されて一樹聖樹に変はりけり 明美
【添削案】灯されて一樹聖樹になりにけり

【原句】照葉濃し猫追いかける一、二枚 幸
【添削案】照紅葉猫追ひ掛くる一、二枚

【原句】兄作りしちりとり出番落葉掃き ヤエ子
【添削案】ちりとりは兄の手作り落葉焚

【原句】冬ざるる丘に新たなる墓標 明美
【添削案】冬ざれや丘に新たなる墓標

【原句】何もかも半端人生山眠る かほる
【添削案】なにもかも半端なりけり山眠る

【原句】生保受けなお金借りる年の暮 眞壽
【添削案】保護受けてなほも借金年の暮

【原句】除雪車の雪を光らす常夜灯 明美
【添削案】除雪車の過ぎてしづかに常夜灯

【原句】故郷の友の小包餅の音 かほる
【添削案】故郷の香り包みし餅の肌

【原句】枝打ちし林の向こふ空赤む ヤエ子
【添削案】枝打ちの林の向かう空の赫

【原句】散歩道木立を抜けし白い息 邦子
【添削案】白息や木立を抜けし万歩計

【原句】冬空を鴉飛び交ふビルの街 眞壽
【添削案】マンション群その天辺の寒鴉

【原句】行き交ひのひとりとして無し山眠る 友子
【添削案】行き交はす人のなかりし山眠る

【原句】眼鏡無しの読書の老人冬ぬくし ヤエ子
【添削案】老ゆれども眼鏡つかはず冬ぬくし

【原句】冬枯れの雑草を刈る河川敷 幸
【添削案】冬枯の雑草刈る音河川敷

【原句】膝折ればしづかな鼓動枯木星 才美
【添削案】膝深く折りし鼓動や枯木星

【原句】誕生日は前の日なりしクリスマス かほる
【添削案】誕生日いつも前日クリスマス

【原句】願ひいつ夫婦でつくる注連飾 ヤエ子
【添削案】願ひつつ共につくりし注連飾

【原句】寒禽の高き一と声散歩道 邦子
【添削案】寒禽の高きひと声散歩道

【原句】北風まず北斎の大鼻に 才美
【添削案】北風まづ北斎の大鼻に

【原句】血圧計の一喜一憂寒鴉 ヤエ子
【添削案】血圧の一喜一憂寒鴉

【原句】切り分くるチーズ吸い付く冬厨 幸
【添削案】切り分くるチーズそばから厨冬

【原句】トランクに隠しておきぬクリスマス かほる
【添削案】トランクの中にあふれしクリスマス

【原句】足伝ふ大地のぬくみ枯葉道 友子
【添削案】足のぼる大地のぬくみ枯葉道

【原句】修験者の入山霧氷濃かりけり 明美
【添削案】入山の修験者一人霧氷濃し

【原句】病み上り散歩もできぬ冬の雨 眞壽
【添削案】冬の雨散歩禁止の病み上がり

【原句】年用意スックと目覚む膝頭 才美
【添削案】年用意スックと覚めし膝頭

【原句】空青く綾取り飛びや冬の鳶 幸
【添削案】空青し綾取り飛びの冬の鳶

【原句】忘年会見合ひ重ねし話など 友子

【添削案】年忘れ見合ひ重ねしことなどを

【原句】落葉掃くことから始む弓道場 才美

【添削案】弓道の始まりにあり落葉掃き

【原句】蜂蜜の葛湯飲むのも病ゆえ 眞壽

【添削案】蜂蜜を入れし葛湯や病み上がり

【原句】看護師の笑顔の治療日向ぼこ かほる

【添削案】看護師の笑みのあふれし日向ぼこ

【原句】枯蓮の風と遊ぶや水の影 ヤエ子

【添削案】枯蓮の風と遊びし水の影

【原句】採血のベテランナース小春空 かほる

【添削案】採血を託すナースや小春空

【原句】逸れじと店もよく見ず酉の市 邦子

【添削案】はぐれざる店のあれこれ酉の市

【原句】冬の街カメラ辿りし捜査員 明美

【添削案】冬の街カメラ追ひたる捜査員

(文書 代表 増田守)

(欠席投句 古野明美 京林眞壽)